

《ポイント》

- ①平成25年度の下記の中見出し9グループ（「ご本人のこと」「健康状態」「日常生活」「趣味やレクリエーション等の活動」「就労状況」「今後の「支え合い」のあり方」「住まい」「防災」「介護保険」）を、「運動」「食生活や口腔」「介護予防事業」「社会参加」などと具体化して再編。
- ②改定前の日常生活圏域ニーズ調査項目より、高齢者の生活機能を把握する設問を活用。
- ③介護予防事業、社会参加といった地域包括ケアシステム構築に向けた設問の充実。

備考欄の記号 ■・・・28年度変更 ☆・・・28年度新設

平成25年度 一般高齢者調査	
問番号	内容
	要支援・要介護認定の状況
	記入者
	調査票を代筆した理由
問1	性別
問2	年齢
問3	家族構成
問3-1	30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無
問4	居住町名
問5	主観的健康感
問6	健康状態を保つために心がけていること
問8	健康診断の受診状況
問8-1	健康診断を受けていない理由
問9	認知機能の状況
問6-1	運動の頻度
問6-3	最も長くしている運動の継続期間
問6-2	運動の種類
問11	今後、参加したいと思う介護予防教室
問10-1	介護予防事業に参加したくない理由
問12	外出の頻度
問12-1	あまり外出しない理由
問12-2	外出しない日に過ごすことが多い人
問13	現在のくらしで、不安に思っていること
問14	安全で安心なまちづくりを進めるうえで、必要だと思うこと
問15	悩みや心配ごとを相談できる人の有無
問15-1	悩みや心配ごとを相談できる人

平成28年度 一般高齢者調査				
中見出し	問番号	内容	備考	変更内容
		要支援・要介護認定の状況		
		記入者		
		調査票を代筆した理由		
1. ご本人のこと	問1	性別		
	問2	年齢		
	問3	家族構成	■	選択肢を追加
	問3-1	30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無	■	ひとり暮らしに限定せず回答者を拡大
2. 健康状態	問4	居住地区	■	連合会単位の分析に向け聴取方法を変更
	問5	主観的健康感	■	国民生活基礎調査の選択肢に変更
	問6	健康状態を保つために実践していること	■	実践へと文言変更
	問7	健康診断の受診状況		
	問7-1	健康診断を受けていない理由		
3. 運動	問8	歯の健康診断の受診状況	☆	
	問9	認知機能の状況	■	認知機能判定項目へ変更
	問10	運動の習慣	☆	
	問10-1	運動の頻度		
4. 食生活や口腔	問10-2	運動の継続期間	■	運動全体の期間をたずねる設問に変更
	問10-3	運動の種類		
	問11	食事で気をつけていること	☆	
5. 介護予防事業	問12	食事を抜く状況	☆	
	問13	食事や口の健康の状況	☆	
	問14(1)	介護予防事業の参加状況	☆	
	問14(2)	介護予防事業の参加意向	■	具体的なメニューを選択肢化
	問14-1	介護予防事業に参加したくない理由		
6. 日常生活	問15	ちがさき体操の認知度	☆	
	問15-1	ちがさき体操の実施状況	☆	
	問16	日常生活動作	☆	
	問17	外出の頻度		
	問17-1	あまり外出しない理由	■	経済的な理由の選択肢を追加
	問17-2	外出しない日に過ごすことが多い人		
	問18	現在のくらしで、不安に思っていること	■	詐欺・悪質商法の選択肢を追加
	問19	安全で安心なまちづくりを進めるうえで、必要だと思うこと		
	問20	悩みや心配ごとの相談先の有無	■	人に限定せず、相談機関も視野に入れる設問へ変更
	問20-1	悩みや心配ごとの相談先	■	同上
	問21	振り込め詐欺の意識	☆	
	問22	振り込め詐欺等の電話を受けた経験の有無	☆	
	問23	振り込め詐欺等に留守番電話が有効であることの認知度	☆	
	問24	公的機関による保険料還付等の電話の誤認識	☆	
問25	防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の放送について	☆		
問26	自分らしい最期を迎えるための準備	☆		
問26-1	準備している内容	☆		
問27	自分らしい最期を迎える際の準備を考える機会への参加意向	☆		
問28	かかりつけ医等の有無	☆		

平成25年度 一般高齢者調査	
問番号	内容
問16	この1年間に行った、又は参加した活動
問17	現在の就労状況
問17-2	働くうえで重視すること
問22	地域のボランティア活動への参加意向
問24	成年後見制度の認知度
問25	成年後見制度の利用・相談窓口の認知度
問25-1	知っている相談窓口
問26	住まいの形態
問26-1	今後10年間の間の住宅の利用について
問27	現在の住まいで困っていること
問28	住まいで困っていることを解消するための対策
問29	大災害への対策
問30	災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無
問30-1	災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人
問33	介護保険の所得段階区分
問34	介護保険の支払額に対する負担感
問36	住まいの近くにある「地域包括支援センター」の認知度
問37	身近な公的機関に対して相談したいこと
問38	市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報の入手手段
問39	介護予定者の有無
問39-1	主な介護予定者
問39-2	主な介護予定者の年齢
問39-3	主な介護予定者との同居の有無
問40	介護が必要になったときに、希望する介護
問40-1	自宅、もしくは子どもや親戚の家で介護を受けながら生活するにあたっての現状評価
問41	自由意見

平成28年度 一般高齢者調査				
中見出し	問番号	内容	備考	変更内容
7. 社会参加	問29 (1)	社会参加の状況	■	就労を含めて社会参加とした選択肢へ変更
	問29 (2)	今後の活動意向	☆	
	問29-1	活動しやすい条件	☆	
	問29-2	活動をしたいとは思わない理由	☆	
	問29-3	就労する上で重視すること	☆	
	問29-4	希望する就労日数	☆	
	問30	興味を持っていること	☆	
8. 今後の「支え合い」のあり方	問31	地域のボランティア活動への参加状況・意向		
	問31-1	活動している(したい)内容	☆	
	問32	「支えられる側」になった場合をお願いしたい内容	☆	
	問33	成年後見制度の認知度		
	問34	成年後見制度の利用・相談窓口の認知度		
	問34-1	知っている相談窓口		
	問35	防災無線を使った呼びかけへの考え	☆	
	問36	住まいの形態		
	問36-1	今後10年間の間の住宅の利用について		
	問37	現在の住まいで困っていること	■	選択肢を一部変更・追加
9. 防災	問37-1	住まいで困っていることを解消するための対策	■	回答者を困っていることのある方に制限
	問38	大災害への対策		
	問39	災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無		
	問39-1	災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人		
	問39-2	災害時要援護者支援制度の認知度	☆	
10. 介護保険	問40	介護保険の所得段階区分		
	問41	介護保険の支払額に対する負担感		
	問42	住まいの近くにある「地域包括支援センター」の認知度		
	問42-1	「地域包括支援センター」の利用状況	☆	
	問43	身近な公的機関に対して相談したいこと	■	就労に関することを追加
	問44	普段の生活の情報の入手手段	☆	
	問45	市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報の入手手段		
	問46	介護経験の有無	☆	
	問47	介護予定者の有無		
	問47-1	主な介護予定者		
	問47-2	主な介護予定者の年齢		
	問47-3	主な介護予定者との同居の有無		
	問48	介護が必要になったときに、希望する介護	■	介護が必要な状態のイメージを、設問文へ追加
問48-1	自宅、もしくは子どもや親戚の家で介護を受けながら生活するにあたっての現状評価	■	選択肢を集約化	
	問49	自由意見		

《削除設問》

問7	健康のことで気になること
問10	一般高齢者向けの介護予防事業への参加意向
問16-1	活動への参加のきっかけ
問16-2	参加していない理由
問17-1	現在、働くことができていない理由
問18	市で実施している就労支援事業の利用意向
問19	65歳以上でも「支える側」として積極的に活動するという考えへの意識
問20	高齢者への福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係に対する考え
問21	仕事や経験により培われた能力を地域で活かしたいという意向
問23	「有償ボランティア」についての考え
問31	災害時や緊急時に市からの情報を得る手段
問31-1	市からの情報を得る手段のうち、利用方法がわからないもの
問32	緊急時や災害時に備えて個人情報を事前に知らせておいてもよい相手
問35	地域包括支援センターの認知
問39-4	別居している主な介護予定者が着くまでに要する時間